

山岳ぐんま



一般社団法人 群馬県山岳・スポーツクライミング連盟

発行人：吉田直人 / 編集人：根井康雄

〒371-0031 前橋市下小出町 2-46-1 (小池寛喜方) tel 027-235-9247 E-mail : info@gunmaken-sangakurenmei.net



top News

2023年度 登山教室スノーシュー講習 実施報告

2023年度のスノーシュー講習を2月24日(土)玉原湿原、尼ヶ禿山にて実施した。

昨秋の受付段階では7名の申込みがあったが、用事や体調不良で3名のキャンセルがあり、当日は4名の参加であった。講師は班長：小池寛喜、副班長：金子一実、対比地昇、そしてもう一人境町山の会から小暮文彦さん

に参加してもらった。

天気：晴れ、風：弱→静穏、気温はやや低めで、風のあった午前中は少し寒く感じられたが、風が弱くなるにつれ汗がにじむようになってきた。前後数日は悪天であったが、当日は良い天気恵まれた。

2月16日に3人(小池、田中、対比地)で下見を行

い、積雪が少ないのは把握していたが、本番当日はさらに20cm程少なくなっていた。湿原入口の自然環境センター前の積雪メジャー目盛りは60～70cmで、例年の半分以下。記録的な少なさである。センターハウス前はところどころ土が見え、沢や側溝は口を開けた部分もあり山間部での歩行は藪を避けながらの歩行となった。



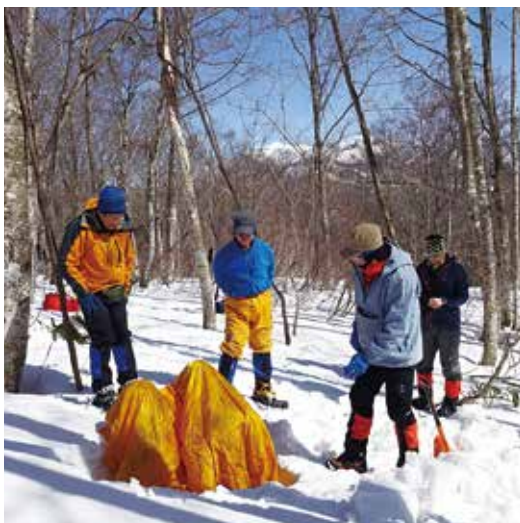
憩中に簡易雪洞を掘り、ツェルトの利用体験を実施。スコップ、スノーソー等の装備の説明をして12:47下山開始。登りと同じように読図講習をしながら順調に進み、渡渉に注意して林道に13:35到着。ここから湿原に入り、景色を楽しみながら気持ち良く歩いた。木道が見えている部分もあり、段差で足がはまらない

ように注意。また、沢状地形の通過では口を開けているところもあるので迂回しながら通過。雪が少なくベンチも見えている。白い湿原と晴天の青空を見ながら座って休憩。林道の自然環境センターからは来た道を引き返すだけである。最後の小休止をセンターハウスでとり、スキーパーク駐車場に14:33到着。片付けをして車乗り合わせにて萬屋建設に移動。閉会式をして15:35解散。

今年度は積雪量が少なく心配した面もあるが、たんばら高原はもともと雪の多いところであり、沼田から短時間で行くことができ、地形的に雪崩などの心配が少ないところでもある。歩行コースもたくさん作ることができ、雪山初心者の講習場所としては最適である。

閉会式で参加者全員に感想を述べてもらった。天気にも恵まれたということもあり、秋の講習よりも楽しく有意義であったとの言葉をいただき、今後の活動の励みになった。

閉会式で参加者全員に感想を述べてもらった。天気にも恵まれたということもあり、秋の講習よりも楽しく有意義であったとの言葉をいただき、今後の活動の励みになった。



ツェルトの利用体験



自然環境センター前

ダウラギリ I 峰 南東稜の慰霊の旅— 2

群馬県山岳・スポーツクライミング連盟顧問 八木原 罔明



新しくなったポカラ空港



ジヨムソンに到着



ジヨムソンからは大型バスで



河口慧海記念館内部

浜 名一雄総隊長以下 19 名いた
隊員も 9 名が黄泉の国へ渡
り、都合がついたのは登頂者、奈

良弘行（旧姓・谷）と私の 2 名で
あった。奈良は 78 年以降仕事一
筋、1 度もネパールを訪れていな

い。浦島太郎の心境だったのでは
ないだろうか。

小泉前橋山岳会長、県議を引退



株式会社エーアールアイ
東京都練馬区上石神井 3-18-1
TEL 03-5991-4638



カリガンダキ河畔から望むダウラギリ



タンチャールのロッジ

された中沢丈一さん、前高山岳部OB植木康夫さんグループ3名はポカラから先は別行動でアンナプルナ遭難の名塚秀二のケルン詣で。吉田岳連会長は単身、ランタン・ヒマールトレッキング。2グループと1名でガイドの古谷朋之を入れれば総勢20名の大部隊。出国時の1ドルが151円。世界の最貧国の1つと言われていたネパールも50年の間には経済も発展し、物価もインフレか？と思うほどの急激な値上がりが続いているらしい。日本の昼食でもワンコインでラーメン・チャーハンが食べられるところなどいくらでもあるのに、それらもビールも日本の普通の飲食店より高いほど。この

旅から1カ月も経たないうちに1ドルは140円になった。

戦争の影響もあるが燃油特別付加運賃も13,000円ほど。ビザも日本でとれば8,400円。任意保険を掛けると総額70万円ほどになる。貧乏人には早々気楽には出かけられない時代になった。我々にはプラス酒代である。これは他人様のせいには出来ませんが。

時差3時間15分のネパールへは夕方着。翌日ポカラへ飛び観光をし、3日目ジョムソンへ飛べば30分足らずで着く。カトマンズ空港の海拔が1300メートル少々、ポカラが約800メートルで暑いほど。ジョムソンは2700メートル超程度。前橋、成田の海拔を考え

れば、激しい4日間の動きを体験することになる。

ジョムソン周辺道路は拡張舗装され大型バスが疾走する。マルファの河口慧海記念館を見物し、眼前に大きく聳える長大なダウラギリ南東稜の姿をカメラに収め、トレッキング開始地点タンチャール(2500m)まで移動する。怖いほどの変わりようである。2003年夏からのイエティ捜索の時はポカラからカリ・ガンダキ河にマンディ・コーラ(川)が合流するベニの町まで小型バスで行け、2009年の山田昇の没後20周年の時はポカラから小型車をチャーターしてガタガタ道をジョムソンへ行った。(続く)

アルファ化米

乾燥米飯



©でんぢゅん

nozomi foods Co., Ltd.
あなたの安心を支えるWel-heart

<https://www.nozomi-f.jp>




WEB

キャンプ 野営に飯を



2025年版カレンダー掲載作品募集のご案内

今年度も次年度のカレンダー作成に当たりましては、会員はもとより広く一般からカレンダーに使用する写真を募集することとなりましたので、ご案内申し上げます。群馬県内ないしは県境の山々を対象としておりますので、ぜひ、とっておきの作品をお寄せ下さい。

募集要項

◆ 概要

カレンダーサイズ	A2判
カレンダー完成月	2024年8月頃
印刷部数	1,200部（一般頒布の他、関係機関等へ配布）
掲載写真点数	7枚
カレンダー頒布価格	1,000円

◆ 作品募集内容

- | | |
|------|---|
| 作品対象 | <ul style="list-style-type: none">・群馬県内の山々、県境の山々・カレンダーですので2ヶ月間は見て楽しめるような見応えのある親しみのもてる作品 |
| 作品内容 | <ul style="list-style-type: none">・ポジフィルム、デジタル写真（1200万画素以上）のいずれも可・大きく引き伸ばしますので画像の粗い作品は不可・過去に写真展や写真集に発表したものでも可 |
| 応募方法 | <ul style="list-style-type: none">・2Lサイズ（データ応募不可）・撮影場所、撮影年月、撮影データを写真の裏面に記載
※記載のないものは採用しません・一人 5点以内 |
| 締切日 | ・2024年5月31日（金） |
| 審査員 | ・一般社団法人群馬県山岳・スポーツライミング連盟理事他 |

※ 氏名、住所、連絡先を明記して、ご応募下さい。

[応募先] 緑埜公一 宛 〒375-0013 群馬県藤岡市上戸塚91-2 電話 0274-23-2779

なお、ご応募頂いた作品は返却しません。また、作品を審査し、作品掲載が決まった方にはご連絡しますが、選考に漏れた方にはご連絡しません。あらかじめご了承下さい。掲載作品の権利は一般社団法人群馬県山岳・スポーツライミング連盟に帰属します。

Challenge Kids

尼ヶ禿山スノーシュー登山 & 玉原高原スノーシューハイキング・



3/2（土）群馬県山岳・スポーツライミング連盟ジュニア委員会の活動で「尼ヶ禿山スノーシュー登山 & 玉原高原スノーシューハイキング」にスタッフとして参加してきました。

長年この活動に携わっていますが、下見時には雪不足が心配される中、当日はラッセルを初めて経験することでもできました。展望もなく風も強く低学年児には厳しい状況でしたが、ほぼ予定通りの活動を終えることができました。

ジュニア委員会の広報ということで、活動の様子を紹介したいと思います。ひとりでも多くの方がこの活動を知っていただくと嬉しいです。（阿部悦子）

群馬の山

13

湯ノ丸山・烏帽子岳

(地蔵峠から2峰周回コース)

難易度A 体力度2

地蔵峠→〈0:40〉分岐→〈0:40〉湯ノ丸山(南

峰・北峰往復12分)→〈0:30〉鞍部→〈0:25〉

稜線→〈0:40〉烏帽子岳→〈0:55〉鞍部→

〈1:10〉地蔵峠



烏帽子岳

浅間山の西に連なる2000m級の尾根上にある古い火山で、湯ノ丸山北の山腹には鹿沢温泉がある。レンゲツツジを代表とする

ツツジ類と高山植物が素晴らしい。どちらの山頂に立っても遮るものがない展望でアルプス、群馬の山々、時には富士山も見える。

湯ノ丸山中腹のレンゲツツジは6月中旬から下旬が見ごろ。

「群馬の山歩きベストガイド

安心して歩ける126コース」



定価1400円+税
ISBN978-4-86352-249-7

群馬県山岳連盟と日本山岳会群馬支部、群馬県勤労者山岳連盟による群馬県山岳団体連絡協議会の編集で、上毛新聞社から発売中。お求めは岳連総務委員会へ。県内外の書店でも好評販売中。

後編 記集

群馬県警が発表した令和5年の県内の山岳遭難発生件数、遭難者数はともに過去最多の147件、159人と最悪の数字となった。その統計データ中に気になることは多々あるのだが、特に気になったのは遭難者の登山計画書提出状況で、未提出が66%という数字。新聞社に勤務していたころ、家族がどこかの山へ行って一月も帰らない。「古い師」に見てもらったら群馬県東部の山でげげ下に落ちていたらしいとのことで相談があった。だが、計画書が出ていなければ手の打ちようもない。登山人口が増えることは喜ばしいのだが、計画書提出という基本中の基本を怠って山へ向かうことのないよう声を上げ続けていかねばならない。



(有) 山とスキーの店 石井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026